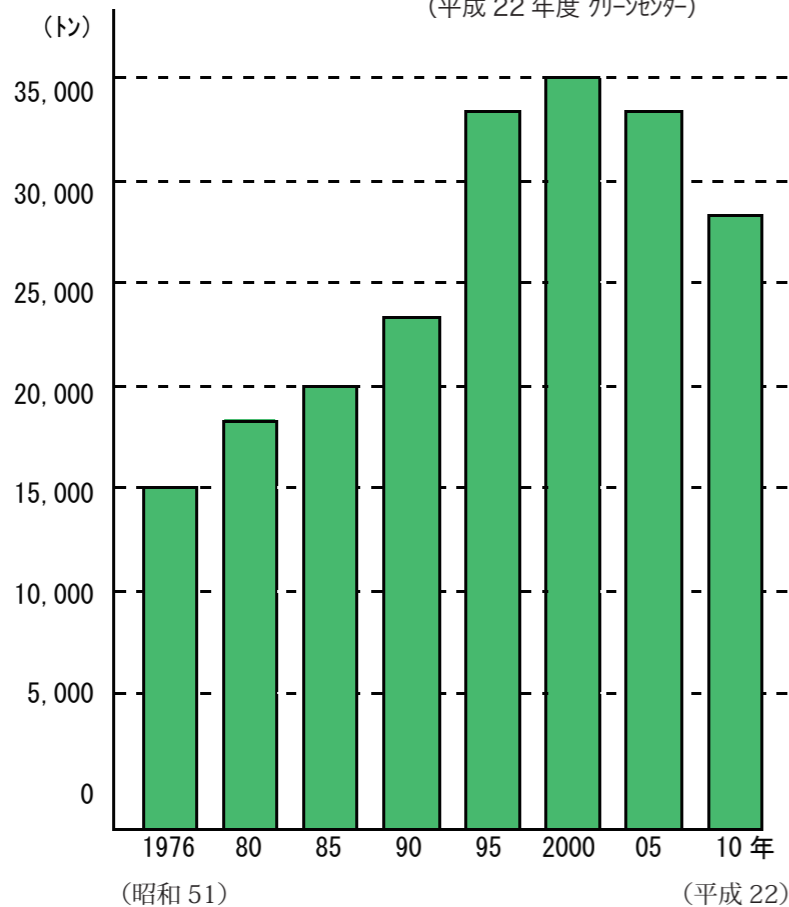


クリーンセンターでもやしたごみのりょうは、どのように変わってきたでしょう。

クリーンセンターでもやしたごみのりょう
(平成 22 年度 クリーンセンター)



このグラフから
どんなことが分
かるかな？



グラフから気づいたこと、考えたこと、不思議に思ったことなどを書きましょう。

クリーンセンターの方のお話

2010(平成 22)年度に、市内から集めてここでしよしたごみは、約 2 万 8 千トンです。これは、1 人が 1 日あたり約 1 kg のごみを出していることになります。このごみをしよするため、年間約 10 億円のお金がかかっています。これらのごみを安全にしよするため、平日は 24 時間休みなく、ごみをもやし続けています。「分ければしげん、まぜればごみ」を合言葉に、これからさらに住民のみなさんに協力していただかなくてはなりません。



年	おもなことがら
1947年	○ごみしゅうしゅうを始める。(市がい地)
1953年	○柏崎市初のせいそうセンターかんせい (8時間で11トンをしよ)
1965年	○きかいのしょうきゃくろかんせい (24時間で25トンをしよ)
1976年	○連続燃焼式しょうきゃくろかんせい (24時間で90トンをしよ)
1991年	○新しいごみしより場かんせい (24時間で160トンをしよ。そ大ごみしよりしせつもできた。)
1992年	○もえるごみ、もえないごみ、そ大ごみの分別しゅうしゅうが始まる。
1993年	○びん、スプレーかんの分別しゅうしゅうが始まる。
1994年	○あきかんの分別しゅうしゅうが始まる。
1996年	○新聞、ざっしなどの紙類の分別しゅうしゅうが始まる。 ○可燃性そ大ごみしよりせつびかんせい
1998年	○ペットボトルの分別しゅうしゅうが始まる。
2000年	○トレヤプラスチック製容器、紙製容器の分別しゅうしゅうが始まる。
2002年	○新しい最終しよ分場(うめたて地)かんせい
2004年	○分別しゅうしゅうのやり方が変わる。 ○そ大ごみの有料化が始まる。
2009年	○ごみの有料化が始まる。(もやすごみ、もやさないごみ)

柏崎市のごみしよりのしかたは、どのように変わってきたのかな？



柏崎市のごみ有料化した理由を考えてみましょう。

なぜ、ごみを出す
のにお金がかかる
ようになったのだ
ろう？



調べて分かったことをまとめましょう。
